



通級だより

不定期便



年の瀬の慌ただしい毎日かと思います。コロナの猛威も少し治まり、ほっとする間もなく今度はオミクロン株の感染が心配です。過度に怖がるのではなく、今までと同じように正しく備えたいです。どうぞご自愛ください。

さて、今回は2年生の各クラスで行った道徳授業の内容と授業の様子や先月、テレビ番組「初耳学」でハッとさせられる内容がありましたのでご紹介したいと思います。共通するのは「自分の強み、弱み」「自己理解」です。

2年生の道徳授業

1学期は「怒りと上手に付き合う方法」について学習しました。この内容はまた次回にさせていただきます。

今回は「みんなの中の自分 ～ いいところ見つけ」をしました。

3年生のこの時期になると入試の面接に向けて自分のプロフィールプリントをつくります。そこに長所・短所を書くことがあります。しかし、短所は思いつくけれど・・・長所は・・・？なかなか思いつかない生徒が多いです。まずは、自己客観視から始めました。

自己客観視

1. 「私は・・・・・・です。」を8通り考えて書きました。

スラスラ書く生徒もいましたし、なかなか進まない生徒も当然いました。どんなことを書いていたか少し紹介します。

運動が好き 勉強が苦手 ゲームが好き・・・・・・めんどくさがり 優しい マイペース
人と話すのが好き 騒がしいのが苦手 負けず嫌い 集中すると時間を忘れてしまう

ごくごく一部です。それぞれ自己分析していますが、どちらかというと短所を書いている生徒が多くいました。

次に、いいところ見つけです。

自己理解 自分のいいところを選ぶ

2. 下のシートの中から自分にあてはまる言葉に○をしました。

元気な人	自由な人	正直な人	何でもがんばる人
見守っている人	落ち着いて判断できる人	ひかえめな人	好奇心旺盛な人
感情豊かな人	ストレスをためない人	器用な人	運動が得意な人

頭がいい人	行動力がある人	物事を慎重にすすめる人	たよりになる人
魅力的な人	自然体の人	ていねいな人	自分らしさをもっている人
自分の考えを持っている人	おっとりしている人	素直な人	植物を育てるのが上手な人
動物と仲良しの人	笑顔がステキな人	人助けができる人	頭の回転が早い人
やさしい人	イキイキしている人	話をよくきいてくれる人	みんなを楽しませてくれる人
想像力が豊かな人	友達をつくるのが上手な人	ホッとできる人	センスがいい人
いろいろとよく考えている人	よく気がつく人	本を読むのが上手な人	字が上手な人
ありがとうが、言える人	ごめんなさいが、言える人		

他者理解 クラスの仲間のいいところを見つけよう！！

3. 同じシートにクラスの仲間の名前を記入しました。まずは同じ班でお互いにシェア、時間の許す限り他の班ともシェアしました。自分では、気づかなかったいいところや、思いがけない発見があったようです。

生徒たちの感想から少しだけ・・・

- ・自分のいいところは自分ではわからなかったけれど、この授業で知ることができた。
- ・いいところを見つけてもらって自信がついた。
- ・思いもしないいいところをチェックしてもらってびっくりした。意外だった。
- ・自分では短所だと思っていたところが長所だったりしてよかった。
- ・うれしくなった。心があたたまった。等々・・・
- ・「トモエ学園」聞いてみます。

4. 福山雅治の曲を紹介しました。「トモエ学園」の一部からです。

♪ 教えてくれましたね 違うって自由ってこと

教えてくれたんですね 大好きって幸せってこと

ほら 自由で幸せです 私は今 ♪

自分のことをいっぱい好きになって、いいところに磨きをかけてほしいと思います。

裏へ

次は、「初耳学」からです。

「今でしょ」で有名な林修氏がMCの番組です。最近では林修氏がお話を伺いたい人と対談することが多いです。先日、森岡毅氏との対談が、ハッとさせられるものでした。最近よく言われる強み・弱みについてです。得意なことだけをやっていたらいいというわけではありません。不得意、どうしても苦手なことは、それをカバーできるもの、工夫や代替できるマシンを使えばもっと生きやすいのですね

さて、話を戻して・・・対談の内容から

森岡さんはUSJや西武園ゆうえんち、ネストリゾート神戸など数々の復活劇の仕掛け人として有名です。森岡さんは国語がとても苦手で、幼い頃は逆さ文字になってしまい先生に注意されたこともあるそうです。いくら頑張っても国語の成績はそれほど伸びず、得意の数学の勉強を頑張ったと仰っていました。

◆論理的思考

「数学を勉強する理由はただ一つ、問題にたどり着くために論理的に考える練習です。問題解決能力をきたえるため、できなくてもいいから頭を鍛えておくことが大事」と数学的に考えることの意味を力説されていました。

◆自分が欠点だと思っているところは実はいいところ

林氏が「特徴を捉えなおすことは、人間にも充てはまって、自分が欠点だと思っているところは実はいいところだったりします」に対して森岡氏も共感しきり・・・

「一番学校の先生や親が子供にしてあげられる一番価値の高いことじゃないかと思うんです。」「普通、人間は弱点をどう直そうかと考えるが、ナスビはナスビにしかねないんです。でも、逆にナスビであること、丸みがあること、黒光りしている事を誇りに思わなくてはいい。ナスビをキュウリになれ！玉ねぎになれ！といっても、しょぼくれたナスビにしかねない、ナスビは立派なナスビにするしかない、バランスが悪くてもいいひとつの能力だけが突き抜けていてもいい」畳みかけるように話されました。

「弱みが強みになることはない」

「その人の『成果・結果・プラスの影響』はその人の強みから出ている！！自分が褒められたことやうまくいった時のことを思い出してみると、必ず強みから結果が出ている。では、強みを徹底的に磨くには、何から始めればいいのか『自分はこういうことが好き』『こういうことが得意』ということを見定めることから全てが始まるのですよ」と

◆Q. 得意なものがない場合どうしたらいいか？

『得意なことがない人』じゃなくて『得意なことがわかってない人』

その理由は「人と比べるからわからなくなる」自分の中で「好きだな」「やってて面白い」という行為「**動詞**」の中にヒントがある。名詞で表現するのではなく「～をする」動詞に置き換えてみることから始めましょう。

林氏がよく生徒に聞かれる質問だそうです

たとえば・・・

「カバン」が好き→「カバンに関わる仕事」ではなくて

「カバンをデザインするのが好き」だと動詞になる

その中に自分の属性的な強みが入っている

動詞＝属性的な強み

それが「デザインセンス」かもしれないし「クリエイティビティー」かもしれない

プロとして食べていける特徴に繋がるかもしれない。

もう一つ・・・

「サッカーが好き」は名詞

「サッカーの作戦を考える」は動詞

この、動詞の中にこそ自分の強みが隠れている

「作戦を考える事が好き」であれば

自分の強みは「分析能力」かもしれないし、「リーダーの要素」かもしれない

生徒の皆さん、自分のいいところを名詞ではなく動詞を含めて表現してみませんか。何か発想の転換ができるかもしれません。より一層、自分を好きになって自分磨きをしてほしいと思います。

さて、最後に、この森岡氏が現在、着目され、取り組まれている事業は、**沖縄**です。

沖縄の北部に大自然を生かした本能にぶっささるテーマパークを建設中だそうです。森岡氏は「沖縄をハワイのように観光の宝石にしたい」と、そこには、沖縄を愛し、沖縄の宝石を輝かせたい情熱を感じました。私の子供たちは、修学旅行で沖縄に行きました。沖縄の大自然の素晴らしさを感じたことは、もちろんですが、戦争中、沖縄でどんなことが起こり、語り継がれていることを学びました。そして、民泊をさせてもらった時に沖縄の文化や伝統を体験させてもらい、心温まる食事を囲ませてもらいました。また、沖縄に行きたいと今でも言っています。